

9月1日は防災の日

日ごろの備えが身を守る

今から92年前の大正12年9月1日は、関東大震災が起きた日です。9月1日は「防災の日」と定められ、災害について再認識する日と位置付けられています。これを機会に一人一人が防災対策を見直し、いざというときのために備えましょう。



平成23年3月の東日本大震災で隆起した道路



平成22年9月の台風9号で冠水した道路



平成25年10月の台風26号で発生した崖崩れ

震災に対する備え

地震は、いつ、どこで起こるか分かりません。迅速・安全に避難するため、日ごろから次のような準備をしましょう。

- 携帯ラジオや地図を持ち歩く
- 懐中電灯や、非常食・保存水・常備薬(各3日分)などの非常持ち出し品、歩きやすいスニーカーを準備しておく
- 地域の避難場所や、一時的に利用できる近くの集会所などまでの避難経路を確認しておく
- 家族などと安否確認の方法や集合場所を話し合っておく
- 帰宅経路やコンビニエンスストア・ガソリンスタンドの位置を確認する。徒歩帰宅支援に関する協定を締結した店舗で、可能な範囲で水やトイレなどが提供されます

震災時の避難行動

大規模な地震が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始める、火災や、沿道の建物からの落下物などにより負傷する危険があり、さらには救助・救急活動の妨げとなる場合があります。

- 災害発生時には、むやみに移動せず、次のことに注意しましょう
- 自分の身の安全を確保する
- 職場や集客施設などの安全な場所にとどまる
- 災害用伝言サービス(5ページ参照)を利用し、家族や自宅の無事確かめる
- 交通情報や被害情報などを入手する

風水害に対する備え

秋は台風の発生が多い季節です。大雨や暴風などによる災害に対して備え、台風の接近時や大雨などが予想される場合には気象情報に注意しましょう。

- 土のうやブルーシートなどを購入しておき、風雨が強まる前に設置する(市ではこれらの配布は行っていません)
- 雨どいや側溝を清掃し、詰まらないようにする

- 屋根瓦や外壁、ブロック塀などを点検し、雨漏りや倒壊の恐れがある箇所は修理をする
- 植木鉢や物干し竿など風に飛ばされやすいものは屋内に片づけ、アンテナやプロパンガスは固定する

土砂災害時の避難行動

- 崖崩れなどの土砂災害は、危険のある場所から離れることで身を守ることが出来ます。崖崩れの土砂は、斜面の高さの2〜3倍も離れた所まで届くといわれています。次のような前兆を発見したら、速やかに崖から離れ、危機管理課(☎20・1523)に情報を提供してください。

- 斜面に亀裂ができる
 - 小石が斜面からこぼれ落ちる
 - 斜面から地鳴りが聞こえる
 - 普段澄んでいる湧水が濁る
 - 斜面から水が吹き出す
- 県と気象庁では、大雨により土砂災害の危険度が高まった際に、土砂災害警戒情報を発表しています。崖の近くに住んでいる人は、この情報が発表されたら直ちに避難ができるよう、非常持ち出し品を準備し、避難場所を確認しておきましょう。

浸水害時の避難行動

大雨による浸水害の恐れがある

場合は、自宅の2階など高いところへ緊急避難することが有効です。激しい雨や浸水、夜間で歩行が危険な場合は自宅上階へ待避してください。

避難所の対象となる人は

地震や風水害や地震などに伴って市が開設する避難所は「災害時に緊急的に住民の安全を守るとともに、災害で住家を失った人の生活の場」です。対象は、次のような人です。

- 災害で住居を失った人
 - ライフラインなどの被害により、日常生活が著しく困難な人
 - 避難勧告などにより、緊急避難の必要がある人
- 災害時に避難所で支援できることには限界があるため、避難者の生活に必要な最低限のことから優先して対応します。

そのため、普段の生活との差をできる限り小さくするために、高齢者・障がい者への心配りや、プライバシーへの配慮など、避難者同士がお互いに協力するようお願いいたします。

災害時の情報発信

市では、台風や大雨などによる気象警報など、防災・災害に関する

情報を次の方法で発信しています。

なりたメール配信サービス

メールで携帯電話やパソコンへ配信します。配信を希望する場合は、利用登録を行ってください。

配信される情報(選択が可能)

- 防災情報
- 大気に関する情報
- 消防情報
- 防犯・安全情報
- 防災行政無線情報

登録方法

下記のQRコードを読み取るか、なりたメール配信サービス登録用アドレス(info-n@sg-m.jp)に空メールを送信し、返信される案内に従ってください。



返信メールが届かない場合、迷惑メール対策がされている場合があります。「sg-m.jp」ドメインからのメールを受信するように設定してください。

防災ツイッター

なりたメール配信サービスなどで配信した情報を成田市防災情報(@bousai_naria)で発信します。ツイッターに登録してなくても内容を見ることができます。

URL = <http://twitter.com/>

bousai_naria

防災行政無線

防災行政無線のスピーカーは市内149カ所に設置されています。聞き逃した場合は、防災無線テレホンガイド(☎0120・38・3898)を利用してください。また、なりたメール配信履歴(<https://service.sugumail.com/naria/member/portals/>)でも確認できます。

自主防災で高める地域の防災力

災害発生直後は、公的機関による緊急対応には限界があります。

自分の身は自分で守るという考え方に加え、地域の人が協力して防災活動に組織的に取り組むことで、さらに被害を軽減することが出来ます。

地域の人が一体となって防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」といいます。市内では、区・自治会などを単位として104組織が結成され、避難訓練や救出訓練などを行っています。

まだ結成されていない区や自治会では、自主防災組織の設立を検討してください。

※くわしくは危機管理課(☎20・1523)へ。

試してみませんか 災害用伝言ダイヤル

災害発生時は、家族の安否確認などの電話が集中するなど、回線が混雑して電話がつながりにくくなります。災害用伝言ダイヤル「171」は、ほかの回線よりもかかりやすいシステムです。

使い方に慣れてもらうために、9月1日(火)~5日(土)の毎日と、毎月1日・15日に、試験的に利用することができます。この機会に家族や知人と、安否確認方法の1つとして試してみませんか。

また、携帯電話各社でも災害用伝言サービスを行っています。

利用方法については、各社に確認してください。

